

J-LIS指定見積書作成の手引



令和8年2月12日

本手引は、事業者がJ-LIS指定見積書を作成する際に参照いただく資料ですが、各自治体においても、あらかじめ内容を御理解いただいた上で各事業者にJ-LIS指定見積書の作成を依頼してください。

J-LIS指定見積書作成依頼の際は、各事業者に本手引及びJ-LIS指定見積書（最新版）とその記載例を配布し、御活用いただくようお願いください。

目次



| 項目 | 記載ページ |
|--|---------|
| 1 . J-LIS指定見積書の趣旨等 | P.2 |
| 2 . J-LIS指定見積書内訳の記載内容・入力項目 | P.3-6 |
| 3 . J-LIS指定見積書内訳の作成方法 | P.7-13 |
| (1) 複数の標準化対象業務にまたがる作業を実施する場合 | P.7 |
| (2) 関連システムとの円滑な連携に要する経費を計上する場合 | P.8 |
| (3) 按分等を行った結果、端数が生じた場合 | P.9 |
| (4) 年度の途中で事業を変更する場合 | P.10 |
| (5) 補助対象外経費を含む見積書を作成する場合 | P.11 |
| (6) 複数年契約を締結しようとする場合 | P.12 |
| (7) ガバメントクラウド利用料を計上しようとする場合 | P.13 |
| 4 . J-LIS指定見積書の頭紙に「不要な情報」が記載され確認・修正等が生じる例 | P.14-15 |
| (1) 頭紙に詳細が記載されている場合 | P.14 |
| (2) 頭紙に見積条件が記載されている場合 | P.15 |
| 5 . J-LIS指定見積書の頭紙と内訳が、一対一でなく確認・修正等が生じる例 | P.16-17 |
| (1) 内訳を自治体の部門ごとに作成している場合 | P.16 |
| (2) 頭紙を自治体の部門ごとに作成している場合 | P.17 |
| 6 . 自治体の変更承認申請時における変更前後のJ-LIS指定見積書の構成で確認・修正が生じる例 | P.18-20 |
| (1) J-LIS指定見積書が変更分だけの作成となっている場合 | P.18 |
| (2) J-LIS指定見積書頭紙が変更前と変更後の2つ作成されている場合 | P.19 |
| (3) 変更前後のJ-LIS指定見積書の正しい構成の例 | P.20 |

1. J-LIS指定見積書の趣旨等

J-LIS指定見積書の活用は、自治体からの申請事務の負担軽減の要望を受け、各事業者における見積書の記載粒度、作業項目の定義及び補助対象外経費の有無等が異なることにより発生していた**見積書内容に関する関係者（国、J-LIS、自治体、事業者）間の確認コストを削減**するための取組みです。

本取組みは、自治体だけでなく、事業者の確認コスト（見積書の確認やり取り、修正、再提出等）も削減する取組みでもあることから、J-LIS指定見積書の作成について、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

J-LIS指定見積書の作成にご協力いただくにあたり、これまでの自治体の申請において確認やり取りや修正などが生じた事例を踏まえ、本手引を作成しました。今後の作成の参考にしてください。

< 確認コストが生じないJ-LIS指定見積書の作成のポイント >

1. J-LIS指定見積書は、見積総額のみ記載された事業者任意様式の「頭紙」とその内訳が記載された「J-LIS 指定見積書内訳」で構成される事業者作成の見積書頭紙と内訳が一体となり見積書が成立しているため、内容や金額の不一致が発生しない。
2. 実施予定の作業は、「J-LIS指定見積書内訳」に記載の選択肢から作業項目を選択統一された用語の定義で、補助対象経費のみを計上するため、確認やり取り、修正等が発生しない。
3. このため、「頭紙」には、見積金額総額（税込）と金額及び作業の詳細は別紙参照する旨の2点のみを記載不要な情報の記載がないため、記載内容の確認やり取り、修正等が発生しない。

従前

従前の状態では、見積書、御試算書、見積書など複数の書類間で、項目名や金額、数量などの情報がバラバラで記載されていたため、確認コストが高かった。

記載粒度の統一等により、自治体及び事業者等の確認コストを削減

J-LIS指定見積書導入後

J-LIS指定見積書導入後は、見積書と見積書内訳が一体となり、記載内容が統一されたため、確認コストが大幅に削減された。

| 項目 | 数量 | 単価(円) | 金額(円) |
|----|-------------|-------|-------|
| 1 | 標準化・共通化事業委託 | - | - |

| 項目 | 数量 | 単価(円) | 金額(円) |
|----|--------------|--------|--------|
| 1 | 文字の標準化(補助対象) | 75,000 | 75,000 |
| | データクレンジング | 10 | 75,000 |
| | データ抽出 | 50 | 75,000 |
| | データ移行 | | 75,000 |

2. J-LIS指定見積書内訳の記載内容・入力項目



J-LIS指定見積書内訳で入力が必要な箇所は以下のとおりです。背景が白色の部分は自動的に入力される箇所であり、編集不要です。各項目の作成方法等については、次ページ以降をご参照ください。

見積書 〇〇市

見積書日付: 2026/11/30

事業者所在地: 東京都千代田区一番町〇〇

事業者名: 株式会社〇〇システム
代表者名: 〇〇支店 営業部長 〇〇 〇〇

変更額(差額)
税抜: 3,300,000 円
税込: 10,890,000 円

見積合計額 (今年度補助対象経費のみ)
税抜: 15,150,000 円
税込: 16,665,000 円

補助対象外経費(今年度補助対象外)
税抜: 1,280,000 円
税込: 1,408,000 円

令和n年度事業費内訳 (単位: 円)

| 項目 | 変更の有無 | 事業者名 | 補助対象経費区分 | 作業名 | 作業概要 | 単価(税抜) | 工数・数量 | 単位 | 合計額(税抜) | 合計額(税込) | 職種 | 標準化対象業務 | システム名称 | 移行するガバナントクラウドサービス名称 | ガバナントと接続する移行クラウド名称 | 入力調属性確認 | |
|----|-------|--------|----------------------|------------------------|--------------------|--------|-------|----|-----------|-----------|----|--------------|----------|---------------------|--------------------|---------------------|----|
| 1 | × | 〇〇システム | 文字の標準化・データ移行などに要する経費 | B.2.データ抽出 | B.2.1.移行対象データ抽出作業 | 75,000 | - | 人日 | 225,000 | 247,500 | SE | 04.個人住民税 | 最新総合システム | Microsoft Azure | - | OK | |
| 2 | × | 〇〇システム | 文字の標準化・データ移行などに要する経費 | B.2.データ抽出 | B.2.1.移行対象データ抽出作業 | 75,000 | - | 人日 | 225,000 | 247,500 | SE | 05.法人住民税 | 最新総合システム | Microsoft Azure | - | OK | |
| 3 | × | 〇〇システム | 文字の標準化・データ移行などに要する経費 | B.2.データ抽出 | B.2.1.移行対象データ抽出作業 | 75,000 | - | 人日 | 225,000 | 247,500 | SE | 09.国民健康保険 | 最新総合システム | Microsoft Azure | その他 | Pay As You Go Cloud | OK |
| 4 | × | 〇〇システム | 文字の標準化・データ移行などに要する経費 | B.3.データ移行 | B.3.1.データ移行作業 | 75,000 | - | 人日 | 1,500,000 | 1,650,000 | SE | 10.後期高齢者医療 | 最新総合システム | Microsoft Azure | その他 | Pay As You Go Cloud | OK |
| 5 | × | 〇〇システム | 文字の標準化・データ移行などに要する経費 | B.3.データ移行 | B.3.1.データ移行作業 | 75,000 | - | 人日 | 1,125,000 | 1,237,500 | SE | 11.介護保険 | 最新総合システム | Microsoft Azure | その他 | Pay As You Go Cloud | OK |
| 6 | × | 〇〇システム | 文字の標準化・データ移行などに要する経費 | B.3.データ移行 | B.3.1.データ移行作業 | 75,000 | - | 人日 | 1,125,000 | 1,237,500 | SE | 01.住民記録 | 最新総合システム | Microsoft Azure | その他 | Pay As You Go Cloud | OK |
| 7 | × | 〇〇システム | 文字の標準化・データ移行などに要する経費 | B.3.データ移行 | B.3.1.データ移行作業 | 75,000 | - | 人日 | 1,125,000 | 1,237,500 | SE | 03.固定資産税 | 最新総合システム | Microsoft Azure | その他 | Pay As You Go Cloud | OK |
| 8 | × | 〇〇システム | 文字の標準化・データ移行などに要する経費 | B.3.データ移行 | B.3.1.データ移行作業 | 75,000 | - | 人日 | 1,125,000 | 1,237,500 | SE | 03.固定資産税(現行) | 最新総合システム | Microsoft Azure | その他 | Pay As You Go Cloud | OK |
| 9 | × | 〇〇システム | 文字の標準化・データ移行などに要する経費 | B.3.データ移行 | B.3.1.データ移行作業 | 75,000 | - | 人日 | 1,125,000 | 1,237,500 | SE | 03.固定資産税 | 最新総合システム | Microsoft Azure | その他 | Pay As You Go Cloud | OK |
| 10 | ○ | 〇〇システム | 環境構築に要する経費 | C.1.標準連携システム利用に必要な初期設定 | C.1.2.本番・検証環境構築作業 | 78,000 | - | 人日 | 1,560,000 | 1,716,000 | SE | 04.個人住民税 | 最新総合システム | Microsoft Azure | - | OK | |
| 11 | ○ | 〇〇システム | 環境構築に要する経費 | C.1.標準連携システム利用に必要な初期設定 | C.1.2.本番・検証環境構築作業 | 90,000 | - | 人日 | 2,340,000 | 2,574,000 | SE | 05.法人住民税 | 最新総合システム | Microsoft Azure | - | OK | |
| 12 | ○ | 〇〇システム | 調査等準備経費 | A.6.RFI結果分析及び移行計画の詳細化 | A.6.2.移行費用・運用費用の確認 | 90,000 | - | 人日 | 2,160,000 | 2,376,000 | SE | 03.固定資産税 | 最新総合システム | Microsoft Azure | - | OK | |
| 13 | ○ | 〇〇システム | 調査等準備経費 | A.6.RFI結果分析及び移行計画の詳細化 | A.6.2.移行費用・運用費用の確認 | 90,000 | - | 人日 | 2,160,000 | 2,376,000 | SE | 04.個人住民税 | 最新総合システム | Microsoft Azure | - | OK | |
| 14 | ○ | 〇〇システム | 環境構築に要する経費 | C.2.クラウド接続設定作業 | C.2.1.クラウド接続設定作業 | 90,000 | - | 人日 | 2,070,000 | 2,277,000 | SE | 04.個人住民税 | 最新総合システム | Microsoft Azure | - | OK | |
| 15 | ○ | 〇〇システム | 環境構築に要する経費 | C.2.クラウド接続設定作業 | C.2.1.クラウド接続設定作業 | 90,000 | - | 人日 | 2,070,000 | 2,277,000 | SE | 05.法人住民税 | 最新総合システム | Microsoft Azure | - | OK | |

手入力の箇所

プルダウンから選択する箇所

自動入力される箇所(計算式は変更しないでください。)

2 . J-LIS指定見積書内訳の記載内容・入力項目

各項目の作成方法及び注意点は、下表のとおりです。J-LIS指定見積書内訳に記載の注意事項（赤字）もご確認ください。

各項目の作成方法・注意点（1 / 3）

| No. | 項目名 | 作成方法・注意点 |
|---------|----------|---|
| 1 B列 | 変更の有無 | <ul style="list-style-type: none"> 自治体が補助事業における変更承認申請を行う際に参照する項目です（詳細な記載方法は10ページを確認ください。）。 今年度中に交付決定を受けていない事業者が作成する場合であっても、自治体の変更承認申請をする場合は、変更有無欄は「○」としてください。自治体の申請種別については、自治体にご確認ください。 自治体の変更承認申請をする場合、既に交付決定された事業は「×」を選択し、今回の変更承認申請対象の事業は「○」を選択してください（交付決定された事業に変更がある場合でも、交付決定された事業の行に変更内容を反映させるのではなく、追加した行に変更分のみの内容を反映してください。交付決定済みかは自治体にご確認ください。）。 |
| 2 C列 | 事業者名 | <ul style="list-style-type: none"> 実施予定の作業等の費用を見積もりした（J-LIS指定見積書内訳を作成した）事業者名を記入してください。 「株式会社」等の会社形態は記載不要です。また、営業所名、支社名も不要です。 見積書頭紙に記載の事業者名と一致させてください。 |
| 3 D列 | 補助対象経費区分 | <ul style="list-style-type: none"> 実施予定の作業等の費用が、事務処理要領の補助対象経費区分A～Eのうち、どれに該当するか選択してください（別添の「別添2-2_補助対象・対象外経費概要一覧表」も併せて参照してください。）。 補助対象経費区分Fは基本的に選択しない形となります。（補助対象経費区分Fの見積書は、J-LIS指定見積書ではなく事業者任意様式にて単独で作成いただくため）。 |
| 4 E列 | 作業等名 | <ul style="list-style-type: none"> 実施予定の作業等の費用の名称が、どの作業名に該当するか選択してください（別添の「別添2-2_補助対象・対象外経費概要一覧表」も併せて参照してください。）。 |
| 5 F列 | 作業概要 | <ul style="list-style-type: none"> 実施予定の作業等の費用の概要が、どれに該当するか選択してください（別添の「別添2-2_補助対象・対象外経費概要一覧表」も併せて参照してください。）。 |
| 6 G列 | 単価（税抜） | <ul style="list-style-type: none"> 実施予定の作業等の単価の税抜価格を整数で入力してください。 同じ作業等であっても、作業者の職種が異なるなどの理由により、単価が複数存在する場合は行を分けて入力してください。 |
| 7 I列 | 工数・数量 | <ul style="list-style-type: none"> 実施予定の作業等の人工や数量を入力してください。 複数の標準化対象業務にまたがる場合は、工数・数量を標準化対象業務で按分してください。 |

2 . J-LIS指定見積書内訳の記載内容・入力項目



各項目の作成方法・注意点 (2 / 3)

| No. | 項目名 | 作成方法・注意点 |
|----------|---------|---|
| 8 J列 | 単位 | <ul style="list-style-type: none"> 実施予定の作業等の単位（人日、人月、個など。）を入力してください。 「一式」や「式」は基本的に不可です（端数調整、回線利用料のうち初期費用にあたる費用を除く。）。 |
| 9 K列 | 合計額（税抜） | <ul style="list-style-type: none"> 「単価」×「数量・工数」の計算式が設定されており自動計算されます。<u>金額の直接入力や計算式の変更は行わないでください。</u> |
| 10 L列 | 合計額（税込） | <ul style="list-style-type: none"> 「合計額（税抜）」×「消費税10%」の計算式が設定されており自動計算されますので、<u>金額の直接入力や計算式（小数点以下切り捨ての計算式（ROUNDDOWN）が設定）の変更は行わないでください。</u> 誤った金額を直接入力してしまった結果、その後、自治体で作成する交付申請書にも誤った金額が計上されてしまった例が見受けられました。 |
| 11 M列 | 職種 | <ul style="list-style-type: none"> 作業担当者の職種を入力してください。 同じ作業であっても、作業者の職種が複数存在する場合は行を分けて入力してください。 作業に当たらない項目の場合は「-」を入力してください。（移行費用に係るガバメントクラウド利用料及び回線利用料等） |
| 12 N列 | 標準化対象業務 | <ul style="list-style-type: none"> 実施予定の作業等に該当する標準化対象業務を選択してください。 補助対象経費区分「E_関連システムとの円滑な連携に要する経費」をJ-LIS指定見積書内訳に計上する場合は、<u>関連システムが連携する標準準拠システムの標準化対象業務を選択</u>してください。 |
| 13 O列 | システム名称 | <ul style="list-style-type: none"> 実施予定の作業等を使用するシステムの名称を入力してください。 「関連システムとの円滑な連携に要する経費」を計上する場合、「システム名称」には標準準拠システムと連携する<u>関連システムの名称を記載</u>してください（記載方法は、8ページを参照してください。）。 過渡期連携（「段階的な標準準拠システムへの移行に伴う現行システムと標準準拠システムとの連携」又は「現行システムである特定移行支援システムと標準準拠システムとの連携」）の場合は、<u>現行システムが関連システムであることが分かるように入力</u>（例：「介護保険システム（現行）」）してください。 |

2 . J-LIS指定見積書内訳の記載内容・入力項目



各項目の作成方法・注意点 (3 / 3)

| No. | 項目名 | 作成方法・注意点 |
|----------|----------------------------------|---|
| 14 P列 | 移行するガバメントクラウドサービス名称 | <ul style="list-style-type: none"> 実施予定の作業等を使用するシステムが、どのガバメントクラウドサービス等に移行するか選択してください。 「その他」を選択した場合は「ガバクラと接続する移行クラウド名称」の欄に具体的なクラウドサービスの名称を記入してください。 「関連システムとの円滑な連携に要する経費」を計上する場合、当該関連システムと連携する標準準拠システムを提供するクラウドサービスを選択してください。 |
| 15 Q列 | ガバクラと接続する移行クラウド名称 | <ul style="list-style-type: none"> 「移行するガバメントクラウドサービス名称」にて、特定のガバメントクラウドサービスを選択した場合又は「-」を選択した場合は、「-」を入力してください。 各行、「移行するガバメントクラウドサービス名称」にて、「その他」を選択した場合は、移行するクラウドサービスの具体的な名称を記入してください。 |
| 16 S列 | 入力網羅性確認 | <ul style="list-style-type: none"> 変更有無(No. 1)～ガバクラと接続する移行クラウド名称(No.15)に未入力項目がある行は、「入力網羅性確認」の列に「NG」と表示されます。 「NG」と表示された行について、未入力の項目がないか確認し、全ての項目を入力してください。 単位 (No.8)、職種 (No.11) の入力漏れが散見されています。 |
| 17 枠外 | 事業者情報 (見積書日付、事業者所在地、事業者名、代表者名) | <ul style="list-style-type: none"> 一般的に、自治体へ提出する見積書に記載される情報を入力する欄です。 |
| 18 枠外 | 対象年度 | <ul style="list-style-type: none"> 原則として「令和8年度事業費内訳 (単位 : 円) 」を選択してください。 複数年契約締結を予定している令和9年度以降の経費が存在する場合は、J-LIS指定見積書 (見積書頭紙 + J-LIS指定見積書内訳) は、令和8年度、令和9年度以降に切り分けて作成してください。12ページの手順に従い「令和9年度以降事業費内訳 (単位 : 円) 」を選択し、年度ごとの見積書頭紙の金額に係る内訳を記載してください。 |
| 19 枠外 | 補助対象外経費 | <ul style="list-style-type: none"> 見積書頭紙に計上された見積合計額に補助対象外経費が含まれている場合は、補助対象外経費を記入してください。 |
| 20 枠外 | 宛名 | <ul style="list-style-type: none"> 見積書の宛名を記入する欄です。 |

3. J-LIS指定見積書内訳の作成方法 (1) 複数の標準化対象業務にまたがる作業を実施する場合

標準化対象業務ごとに工数が把握できているものについては、その工数を入力してください。

プログラム・機能等が一体化しており、標準化対象業務ごとに工数を把握できない場合には、便宜的に均等按分により、工数を算出して入力してください。

移行先がガバメントクラウド以外である場合には、Q列に移行先のクラウドサービス名を記載してください。

| 項目 | 変更の有無 | 事業者名 | 補助対象経費区分 | 作業名 | 作業概要 | 単価(税抜) | 工数・数量 | 単位 | 合計額(税抜) | 合計額(税込) | 職種 | 標準化対象業務 | システム名称 | 移行するガバメントクラウドサービス名 | ガバメントと接続する移行クラウド名称 | 入力調整確認 |
|----|-------|--------|------------------------|-------------------------|-------------------|--------|--------|----|-----------|-----------|----|------------|-----------|--------------------|---------------------|--------|
| 1 | × | 〇〇システム | B-文字の標準化・データ移行などに要する経費 | B-2.データ抽出 | B-2.1.移行対象データ抽出作業 | 75,000 | 4,000 | 人日 | 300,000 | 330,000 | SE | 03.固定資産税 | 税新総合システム | Microsoft Azure | - | OK |
| 2 | × | 〇〇システム | B-文字の標準化・データ移行などに要する経費 | B-2.データ抽出 | B-2.1.移行対象データ抽出作業 | 75,000 | 3,000 | 人日 | 225,000 | 247,500 | SE | 04.個人住民税 | 税新総合システム | Microsoft Az | - | OK |
| 3 | × | 〇〇システム | B-文字の標準化・データ移行などに要する経費 | B-2.データ抽出 | B-2.1.移行対象データ抽出作業 | 75,000 | 3,000 | 人日 | 225,000 | 247,500 | SE | 05.法人住民税 | 税新総合システム | Microsoft Az | - | OK |
| 4 | × | 〇〇システム | B-文字の標準化・データ移行などに要する経費 | B-3.データ移行 | B-3.1.データ移行作業 | 75,000 | 20,000 | 人日 | 1,500,000 | 1,650,000 | SE | 09.国民健康保険 | 福祉総合システム | その他 | Pay As You Go Cloud | OK |
| 5 | × | 〇〇システム | B-文字の標準化・データ移行などに要する経費 | B-3.データ移行 | B-3.1.データ移行作業 | 75,000 | 15,000 | 人日 | 1,125,000 | 1,237,500 | SE | 10.後期高齢者医療 | 福祉総合システム | その他 | Pay As You Go Cloud | OK |
| 6 | × | 〇〇システム | B-文字の標準化・データ移行などに要する経費 | B-3.データ移行 | B-3.1.データ移行作業 | 75,000 | 15,000 | 人日 | 1,125,000 | 1,237,500 | SE | 11.介護保険 | 福祉総合システム | その他 | Pay As You Go Cloud | OK |
| 7 | × | 〇〇システム | E.関連システムとの円滑な連携に要する経費 | E.1.関連システムとの連携プログラム等の修正 | E.1.1.連携プログラム修正作業 | 37,460 | 10,000 | 人日 | 374,600 | 412,060 | SE | 01.住民記録 | コンビニ交付 | Microsoft Azure | - | OK |
| 8 | × | 〇〇システム | E.関連システムとの円滑な連携に要する経費 | E.1.関連システムとの連携プログラム等の修正 | E.1.1.連携プログラム修正作業 | 37,460 | 10,000 | 人日 | 374,600 | 412,060 | SE | 03.固定資産税 | 固定資産税(現行) | Microsoft Azure | - | OK |
| 9 | × | 〇〇システム | その他 | 補償調整 | - | 800 | 1,000 | 人日 | 800 | 880 | - | - | - | その他 | - | OK |

J-LIS指定見積書作成のポイント

本補助金は、ガバメントクラウド等上で提供される標準準拠システムへ移行に要する経費を補助することを目的としております。そのため、補助対象経費は基本的に標準化対象業務ごとに算出する必要があります。

上記事例では、標準化対象業務ごとの工数が把握できない場合、均等按分としておりますが、事業者にて他に用いている手法（例えば、画面数等）があれば、均等按分に依らず標準化対象業務ごとの金額を算出していただいても構いません。

3 . J-LIS指定見積書内訳の作成方法 (2) 関連システムとの円滑な連携に要する経費を計上する場合

関連システムとの円滑な連携に要する経費を計上する場合、「システム名称」は標準準拠システムと連携する関連システムの名称を記載してください。

「移行するガバメントクラウドサービス名称」は、当該関連システムと連携する標準準拠システムを提供するクラウドを選択してください。

| 項目 | 変更の有無 | 事業者名 | 補助対象経費区分 | 作業名 | 作業概要 | 単価(税抜) | 工数・数量 | 単位 | 合計額(税抜) | 合計額(税込) | 種別 | 標準化対象業務 | システム名称 | 移行するガバメントクラウドサービス名称 | ガバメントと接続する移行クラウド名称 | 入力調整性確認 |
|----|-------|--------|------------------------|-------------------------|-------------------|--------|--------|----|-----------|-----------|----|------------|-----------|---------------------|---------------------|---------|
| 1 | × | 〇〇システム | B.文字の標準化・データ移行などに要する経費 | B.2.データ抽出 | B.2.1.移行対象データ抽出作業 | 75,000 | 4.000 | 人日 | 300,000 | 330,000 | SE | 03.固定資産税 | 税務総合システム | Microsoft Azure | - | OK |
| 2 | × | 〇〇システム | B.文字の標準化・データ移行などに要する経費 | B.2.データ抽出 | B.2.1.移行対象データ抽出作業 | 75,000 | 3.000 | 人日 | 225,000 | 247,500 | SE | 04.個人住民税 | 税務総合システム | Microsoft Azure | - | OK |
| 3 | × | 〇〇システム | B.文字の標準化・データ移行などに要する経費 | B.2.データ抽出 | B.2.1.移行対象データ抽出作業 | 75,000 | 3.000 | 人日 | 225,000 | 247,500 | SE | 05.法人住民税 | 税務総合システム | Microsoft Azure | - | OK |
| 4 | × | 〇〇システム | B.文字の標準化・データ移行などに要する経費 | B.3.データ移行 | B.3.1.データ移行作業 | 75,000 | 20.000 | 人日 | 1,500,000 | 1,650,000 | SE | 09.国民健康保険 | 福祉総合システム | その他 | Pay As You Go Cloud | OK |
| 5 | × | 〇〇システム | B.文字の標準化・データ移行などに要する経費 | B.3.データ移行 | B.3.1.データ移行作業 | 75,000 | 15.000 | 人日 | 1,125,000 | 1,237,500 | SE | 10.後期高齢者医療 | 福祉総合システム | その他 | Pay As You Go Cloud | OK |
| 6 | × | 〇〇システム | B.文字の標準化・データ移行などに要する経費 | B.3.データ移行 | B.3.1.データ移行作業 | 75,000 | 15.000 | 人日 | 1,125,000 | 1,237,500 | SE | 11.介護保険 | 福祉総合システム | その他 | Pay As You Go Cloud | OK |
| 7 | × | 〇〇システム | E.関連システムとの円滑な連携に要する経費 | E.1.関連システムとの連携プログラム等の修正 | E.1.1.連携プログラム修正作業 | 37,460 | 10.000 | 人日 | 374,600 | 412,060 | SE | 01.住民記録 | コソビニ交付 | Microsoft Azure | - | OK |
| 8 | × | 〇〇システム | E.関連システムとの円滑な連携に要する経費 | E.1.関連システムとの連携プログラム等の修正 | E.1.1.連携プログラム修正作業 | 37,460 | 10.000 | 人日 | 374,600 | 412,060 | SE | 03.固定資産税 | 国字等管理(現行) | Microsoft Azure | - | OK |
| 9 | × | 〇〇システム | その他 | 諸数調整 | - | 800 | 1.000 | 人日 | 800 | 880 | - | - | その他 | - | - | OK |

J-LIS指定見積書作成のポイント

過渡期連携（「段階的な標準準拠システムへの移行に伴う現行システムと標準準拠システムとの連携」又は「現行システムである特定移行支援システムと標準準拠システムとの連携」）の場合は、現行システムが関連システムであることが分かるように記載（例：「固定資産税（現行）」）してください（上記記載例の項番8（赤色で塗られた部分））。

過渡期連携以外は、基本的に標準準拠システムの名称は記載されないと考えられます（標準準拠システム同士の連携は、API連携が標準機能として搭載されているので修正は想定されず、費用は発生しないため。）。

3. J-LIS指定見積書内訳の作成方法 (3) 按分等を行った結果、端数が生じた場合



按分等により生じた端数を調整する場合は「作業等名」にて「端数調整」を選択してください。

端数調整した金額が、対外的に説明可能な程度に十分に少額（概ね±1,000円未満）かご確認ください。

| 項目 | 変更の有無 | 事業者名 | 補助対象経費区分 | 作業等名 | 作業概要 | 単価(税抜) | 工数・数量 | 単位 | 合計額(税抜) | 合計額(税込) | 種別 | 標準化対象業務 | システム名称 | 移行するガバナントクラウドサービス名称 | ガバクラと接続する移行クラウド名称 | 入力調整性確認 |
|----|-------|--------|------------------------|-------------------------|-------------------|--------|--------|----|-----------|-----------|----|------------|-----------|---------------------|---------------------|---------|
| 1 | × | 〇〇システム | B.文字の標準化・データ移行などに要する経費 | B.2.データ抽出 | B.2.1.移行対象データ抽出作業 | 75,000 | 4.000 | 人日 | 300,000 | 330,000 | SE | 03.固定資産税 | 税務総合システム | Microsoft Azure | - | OK |
| 2 | × | 〇〇システム | B.文字の標準化・データ移行などに要する経費 | B.2.データ抽出 | B.2.1.移行対象データ抽出作業 | 75,000 | 3.000 | 人日 | 225,000 | 247,500 | SE | 04.個人住民税 | 税務総合システム | Microsoft Azure | - | OK |
| 3 | × | 〇〇システム | B.文字の標準化・データ移行などに要する経費 | B.2.データ抽出 | B.2.1.移行対象データ抽出作業 | 75,000 | 3.000 | 人日 | 225,000 | 247,500 | SE | 05.法人住民税 | 税務総合システム | Microsoft Azure | - | OK |
| 4 | × | 〇〇システム | B.文字の標準化・データ移行などに要する経費 | B.3.データ移行 | B.3.1.データ移行作業 | 75,000 | 20.000 | 人日 | 1,500,000 | 1,650,000 | SE | 09.国民健康保険 | 福祉総合システム | その他 | Pay As You Go Cloud | OK |
| 5 | × | 〇〇システム | B.文字の標準化・データ移行などに要する経費 | B.3.データ移行 | B.3.1.データ移行作業 | 75,000 | 15.000 | 人日 | 1,125,000 | 1,237,500 | SE | 10.後期高齢者医療 | 福祉総合システム | その他 | Pay As You Go Cloud | OK |
| 6 | × | 〇〇システム | B.文字の標準化・データ移行などに要する経費 | B.3.データ移行 | B.3.1.データ移行作業 | 75,000 | 15.000 | 人日 | 1,125,000 | 1,237,500 | SE | 11.介護保険 | 福祉総合システム | その他 | Pay As You Go Cloud | OK |
| 7 | × | 〇〇システム | E.関連システムとの円滑な連携に要する経費 | E.1.関連システムとの連携プログラム等の修正 | E.1.1.連携プログラム修正作業 | 37,460 | 10.000 | 人日 | 374,600 | 412,060 | SE | 01.住民記録 | コンビニ交付 | Microsoft Azure | - | OK |
| 8 | × | 〇〇システム | E.関連システムとの円滑な連携に要する経費 | E.1.関連システムとの連携プログラム等の修正 | E.1.1.連携プログラム修正作業 | 37,460 | 10.000 | 人日 | 374,600 | 412,060 | SE | 03.固定資産税 | 固定資産税(移行) | Microsoft Azure | - | OK |
| 9 | × | 〇〇システム | その他 | 端数調整 | - | 800 | 1.000 | 人日 | 800 | 880 | - | - | - | その他 | - | OK |

J-LIS指定見積書作成のポイント

端数調整は、按分等をしたことによりやむを得ず生じた金額を調整するための項目です。出精値引きや補助対象経費区分のいずれにも該当しない経費を計上するための項目ではありません。

3. J-LIS指定見積書内訳の作成方法 (4) 年度の途中で事業を変更する場合



交付決定済の行は「×」を選択してください。
今回の変更承認申請（増額や減額）の対象となる行は「○」を選択してください。

「単価」「工数・数量」には、自治体が前回交付決定を受けた際に提出したJ-LIS指定見積書内訳の補助対象経費に対する増減分を記載ください。減額の場合は「工数・数量」をマイナスにしてください。

「変更の有無」に「○」が付いている作業の合計額が、「変更額（差額）」に反映されます。金額をご確認ください。

| 項目 | 変更の有無 | 事業者名 | 補助対象経費区分 | 作業名 | 作業概要 | 単価(税抜) | 工数・数量 | 単位 | 合計額(税抜) | 合計額(税込) | 職種 | 標準化対象業務 | システム名称 | 移行するガバナントクラウドサービス名称 | ガバクラと接続する移行クラウド名 | 入力調整性確認 |
|----|-------|--------|------------------------|-------------------------|--------------------|--------|--------|----|-----------|-----------|----|------------|-----------|---------------------|---------------------|---------|
| 1 | ○ | 〇〇システム | C.文字の標準化・データ移行などに要する経費 | B.2.データ抽出 | B.2.1.移行対象データ抽出作業 | 75,000 | 4,000 | 人日 | 300,000 | 330,000 | SE | 03.固定資産税 | 視新総合システム | Microsoft Azure | - | OK |
| 2 | × | 〇〇システム | C.文字の標準化・データ移行などに要する経費 | B.2.データ抽出 | B.2.1.移行対象データ抽出作業 | 75,000 | 3,000 | 人日 | 225,000 | 247,500 | SE | 04.個人住民税 | 視新総合システム | Microsoft Azure | - | OK |
| 3 | ○ | 〇〇システム | C.文字の標準化・データ移行などに要する経費 | B.2.データ抽出 | B.2.1.移行対象データ抽出作業 | 75,000 | 3,000 | 人日 | 225,000 | 247,500 | SE | 05.法人住民税 | 視新総合システム | Microsoft Azure | - | OK |
| 4 | × | 〇〇システム | C.文字の標準化・データ移行などに要する経費 | B.3.データ移行 | B.3.1.データ移行作業 | 75,000 | 20,000 | 人日 | 1,500,000 | 1,650,000 | SE | 09.国民健康保険 | 福祉総合システム | その他 | Pay As You Go Cloud | OK |
| 5 | × | 〇〇システム | C.文字の標準化・データ移行などに要する経費 | B.3.データ移行 | B.3.1.データ移行作業 | 75,000 | 15,000 | 人日 | 1,125,000 | 1,237,500 | SE | 10.後期高齢者医療 | 福祉総合システム | その他 | Pay As You Go Cloud | OK |
| 6 | × | 〇〇システム | C.文字の標準化・データ移行などに要する経費 | B.3.データ移行 | B.3.1.データ移行作業 | 75,000 | 15,000 | 人日 | 1,125,000 | 1,237,500 | SE | 11.介護保険 | 福祉総合システム | その他 | Pay As You Go Cloud | OK |
| 7 | × | 〇〇システム | E.関連システムとの円滑な連携に要する経費 | E.1.関連システムとの連携プログラム等の修正 | E.1.1.連携プログラム修正作業 | 37,460 | 10,000 | 人日 | 374,600 | 412,060 | SE | 01.住民記録 | コンビニ交付 | Microsoft Azure | - | OK |
| 8 | × | 〇〇システム | E.関連システムとの円滑な連携に要する経費 | E.1.関連システムとの連携プログラム等の修正 | E.1.1.連携プログラム修正作業 | 37,460 | 10,000 | 人日 | 374,600 | 412,060 | SE | 03.固定資産税 | 固定資産税(現行) | Microsoft Azure | - | OK |
| 9 | × | 〇〇システム | その他 | 振数調整 | - | 800 | 1,000 | 人日 | 800 | 880 | - | - | - | その他 | - | OK |
| 10 | ○ | 〇〇システム | C.文字の標準化・データ移行などに要する経費 | B.2.データ抽出 | B.2.1.移行対象データ抽出作業 | 75,000 | 4,000 | 人日 | 300,000 | 330,000 | SE | 03.固定資産税 | 視新総合システム | Microsoft Azure | - | OK |
| 11 | ○ | 〇〇システム | C.環境構築に要する経費 | C.1.標準連携システム利用に必要な初期設定 | C.1.2.本番・検証環境構築作業 | 78,000 | 20,000 | 人日 | 1,560,000 | 1,716,000 | SE | 04.個人住民税 | 視新総合システム | Microsoft Azure | - | OK |
| 12 | ○ | 〇〇システム | C.環境構築に要する経費 | C.1.標準連携システム利用に必要な初期設定 | C.1.2.本番・検証環境構築作業 | 90,000 | 26,000 | 人日 | 2,340,000 | 2,574,000 | SE | 05.法人住民税 | 視新総合システム | Microsoft Azure | - | OK |
| 13 | ○ | 〇〇システム | A.調査等準備経費 | A.6.RFI結果分析及び移行計画の詳細化 | A.6.2.移行費用・運用費用の確認 | 90,000 | 24,000 | 人日 | 2,160,000 | 2,376,000 | SE | 03.固定資産税 | 視新総合システム | Microsoft Azure | - | OK |
| 14 | ○ | 〇〇システム | C.環境構築に要する経費 | C.2.ガバメントクラウド等上の設備環境設定 | C.2.1.クラウド接続設定作業 | 90,000 | 23,000 | 人日 | 2,070,000 | 2,277,000 | SE | 04.個人住民税 | 視新総合システム | Microsoft Azure | - | OK |
| 15 | ○ | 〇〇システム | C.環境構築に要する経費 | C.2.ガバメントクラウド等上の設備環境設定 | C.2.1.クラウド接続設定作業 | 90,000 | 23,000 | 人日 | 2,070,000 | 2,277,000 | SE | 05.法人住民税 | 視新総合システム | Microsoft Azure | - | OK |

J-LIS指定見積書作成のポイント

変更前の申請に係るJ-LIS指定見積書内訳の中の新しい行に、変更承認申請に係る補助対象経費を追記して作成してください（増額・減額に関わらず。）。これは、申請年度における補助対象経費の一覧性を確保するためであり、変更分だけのJ-LIS指定見積書を作成しないようご注意ください。

前回までの交付決定分に関する内容は加筆・修正・削除しないようにしてください。

3 . J-LIS指定見積書内訳の作成方法 (5) 補助対象外経費を含む見積書を作成する場合

見積書頭紙の見積合計額に補助対象外経費が含まれている場合は、「補助対象外経費」に税抜の補助対象外経費を記入してください。

「見積合計額」には、「見積合計額（今年度補助対象経費のみ。）」と、「補助対象外経費」の合計額が自動入力されます。見積書頭紙の金額と一致することをご確認ください。

| 項目 | 変更の有無 | 事業者名 | 標準化対象業務 | システム名称 | 移行するガバナメントクラウドサービス名称 | ガバクラと接続する移行クラウド名称 |
|----|-------|--------|-------------|-----------|----------------------|---------------------|
| 1 | × | 〇〇システム | 03. 固定資産税 | 税務総合システム | Microsoft Azure | - |
| 2 | × | 〇〇システム | 04. 個人住民税 | 税務総合システム | Microsoft Azure | - |
| 3 | × | 〇〇システム | 05. 法人住民税 | 税務総合システム | Microsoft Azure | - |
| 4 | × | 〇〇システム | 09. 国民健康保険 | 福祉総合システム | その他 | Pay As You Go Cloud |
| 5 | × | 〇〇システム | 10. 後期高齢者医療 | 福祉総合システム | その他 | Pay As You Go Cloud |
| 6 | × | 〇〇システム | 11. 介護保険 | 福祉総合システム | その他 | Pay As You Go Cloud |
| 7 | × | 〇〇システム | 01. 住民記録 | コンビニ交付 | Microsoft Azure | - |
| 8 | × | 〇〇システム | 03. 固定資産税 | 固定資産税（移行） | Microsoft Azure | - |
| 9 | × | 〇〇システム | 880 | - | その他 | - |

(例) 見積書

〇〇市 様

株式会社〇〇システム

件名：〇〇市 標準化・共通化事業
お見積り金額 **¥7,183,000- (税込)**

※ 補助対象経費については、見積内訳・明細統一様式を当該見積書別紙としております。
※ 補助対象外経費については、弊社所定様式により作成しております。

事業者所定様式 (J-LISへの提出は不要)

見積内訳

株式会社〇〇システム

AI導入業務 **¥1,280,000- (税抜)**

| 数量 (人日) | 単価 (円) | 金額 (円) |
|---------|---------|---------|
| 1 | | |
| | | |
| 2 | 128,000 | 256,000 |
| 1 | 128,000 | 128,000 |
| 1 | | |
| 2 | | |

J-LIS指定見積書作成のポイント

補助対象外経費を含む見積書を作成する場合、補助対象部分はその内訳をJ-LIS指定見積書内訳に記載し、補助対象外経費は「補助対象外経費」欄に金額のみ記載してください。

補助対象外となる部分については、別途、事業者所定様式で内訳を作成していただいても構いませんが、J-LISへの提出は不要です。

3 . J-LIS指定見積書内訳の作成方法 (6) 複数年契約を締結しようとする場合

令和8年度又は令和9年度以降のいずれの年度の見積書頭紙に係る内訳なのかを選択してください。J-LIS指定見積書は、令和8年度、令和9年度以降に切り分けて作成する必要があります。

で選択した年度の見積書頭紙の金額に係る内訳を記入してください。令和8年度と令和9年度以降の経費の二重計上が発生しないようにしてください。

見積書内訳

〇〇市 様

見積書

株式会社〇〇システム

件名: 〇〇市 標準化・共通化事業 (令和n年度分)

お見積り金額: ¥5,775,000- (税込)

※ 見積内訳・明細統一様式をこの見積書別紙としております。

令和n年度事業費内訳 (単位: 円)

| 項番 | 変更の有無 | 事業者名 | 金額 | SE | 税種 | システム | クラウド名称 | サービス名称 |
|----|-------|--------|---------|----|-------------|------------|-----------------|---------------------|
| 1 | × | 〇〇システム | 1,000 | SE | 03. 固定資産税 | 税務総合システム | Microsoft Azure | - |
| 2 | × | 〇〇システム | 7,500 | SE | 04. 個人住民税 | 税務総合システム | Microsoft Azure | - |
| 3 | × | 〇〇システム | 47,500 | SE | 05. 法人住民税 | 税務総合システム | Microsoft Azure | - |
| 4 | × | 〇〇システム | 50,000 | SE | 09. 国民健康保険 | 福祉総合システム | その他 | Pay As You Go Cloud |
| 5 | × | 〇〇システム | 237,500 | SE | 10. 後期高齢者医療 | 福祉総合システム | その他 | Pay As You Go Cloud |
| 6 | × | 〇〇システム | 237,500 | SE | 11. 介護保険 | 福祉総合システム | その他 | Pay As You Go Cloud |
| 7 | × | 〇〇システム | 412,060 | SE | 01. 住民記録 | コンビニ交付 | Microsoft Azure | - |
| 8 | × | 〇〇システム | 412,060 | SE | 03. 固定資産税 | 固定資産税 (現行) | Microsoft Azure | - |
| 9 | × | 〇〇システム | 880 | - | - | - | その他 | - |

見積書内訳

〇〇市 様

見積書

株式会社〇〇システム

件名: 〇〇市 標準化・共通化事業 (令和n+1年度分)

お見積り金額: ¥4,389,000- (税込)

※ 見積内訳・明細統一様式を当該見積書別紙としております。

令和n+1年度以降事業費内訳 (単位: 円)

| 項番 | 変更の有無 | 事業者名 | 金額 | SE | 税種 | システム | クラウド名称 | サービス名称 |
|----|-------|--------|---------|----|-----------|----------|-----------------|--------|
| 1 | × | 〇〇システム | 1,000 | SE | 03. 固定資産税 | 税務総合システム | Microsoft Azure | - |
| 2 | × | 〇〇システム | 7,000 | SE | 04. 個人住民税 | 税務総合システム | Microsoft Azure | - |
| 3 | × | 〇〇システム | 47,000 | SE | 05. 法人住民税 | 税務総合システム | Microsoft Azure | - |
| 4 | × | 〇〇システム | 480,000 | SE | 04. 個人住民税 | 税務総合システム | Microsoft Azure | - |
| 5 | × | 〇〇システム | 485,000 | SE | 05. 法人住民税 | 税務総合システム | Microsoft Azure | - |
| 6 | | | 0 | | | | | |
| 7 | | | 0 | | | | | |
| 8 | | | 0 | | | | | |
| 9 | | | 0 | | | | | |

J-LIS指定見積書作成のポイント

本補助金は、年度単位となります。令和8年度から令和9年度以降に係る複数年契約の場合は、J-LIS指定見積書（見積書頭紙 + J-LIS指定見積書内訳）は、令和8年度、令和9年度以降に切り分けて作成してください。

自治体から支払額について、令和8年度分をゼロ円とし、全額を次年度支払い（いわゆるゼロ債務負担行為による申請）としたい旨、相談があった場合には、上記例の左側の事例の金額をゼロ円（作業項目のそれぞれの工数をゼロ円にするということ。）にし、次年度に全額計上したJ-LIS指定見積書をご準備ください。

3 . J-LIS指定見積書内訳の作成方法 (7) ガバメントクラウド利用料を計上しようとする場合

ガバメントクラウド利用料に係る見積もりについて、事業者名欄には、参考として見積書を作成いただいた事業者名をご記載ください。具体的な補助対象経費区分等の記載方法は、下記の記載例をご覧ください。

CSPの見積ツール等で算出した金額を標準化対象業務ごとに入力（月額×月数）してください。コンピューティングリソースを共有している等の理由により、標準化対象業務ごとに算出できない場合には、均等按分により利用料を算出してください。

| 項目 | 変更の有無 | 事業者名 ※「株式会社」等の会社形態は除外してください。また、営業所名、支社名も不要です。 | 補助対象経費区分 | 作業名 | 作業概要 | (税抜) | 数量 | 単価 | 金額 | 税率 | 税額 | サービス名 | 備考 | 力調属性確認 | |
|----|-------|--|--------------|-----------------------|-----------------------|-----------|-------|----|-----------|----|----------|----------|-----------------|--------|----|
| 1 | × | 〇〇システム | C.環境構築に要する経費 | C.2.ガバメントクラウド等上の設備増設等 | C.2.ガバメントクラウド等上の設備増設等 | 1,215,000 | 6.000 | 月 | 7,290,000 | - | 08.固定資産税 | 脱務結合システム | Microsoft Azure | - | OK |
| 2 | × | 〇〇システム | C.環境構築に要する経費 | C.2.ガバメントクラウド等上の設備増設等 | C.2.ガバメントクラウド等上の設備増設等 | 756,000 | 6.000 | 月 | 4,536,000 | - | 04.個人住民税 | 脱務結合システム | Microsoft Azure | - | OK |

CSPの見積ツールの通貨が日本国以外の通貨であっても、補助金申請は日本円に換算して申請してください。申請の際に適用する為替レートをJ-LISが指定することはありません。

J-LIS指定見積書作成のポイント

移行費用に係るガバメントクラウド利用料は、令和8年3月分～令和9年2月までを令和8年度、令和9年3月～令和10年2月までを令和9年度分の補助対象経費とします。令和9年3月分の経費は計上しないでください。

本番稼働前であり、運用経費と明確に切り分けられる場合に限り補助対象となるため、運用経費と明確に切り分けた上で計上してください。切り分け方について、他の補助対象経費の補助対象内外の判断と同様に自治体と調整してください。

自治体が既にデジタル庁から請求書を受領している場合であっても、自治体の補助金申請にあたりJ-LIS指定見積書の提出が必要です。請求書の金額を踏まえた見積書金額の算出にご協力ください。

見積書作成に用いた書類（CSP見積ツールの計算結果やデジタル庁からの請求書、運用経費との切り分けに関する書類）の添付、J-LIS指定見積書頭紙への付記等は不要です。

4 . J-LIS指定見積書の頭紙に「不要な情報」が記載され確認・修正等が生じる例 (1) 頭紙に詳細が記載されている場合

J-LIS指定見積書内訳に作業の明細が記載されているため、J-LIS指定見積書の構成の一部である頭紙には詳細は不要です（**不要な情報が記載されている場合は、記載内容に関する確認やり取りや修正等が発生します。**）。

(例) 見積書

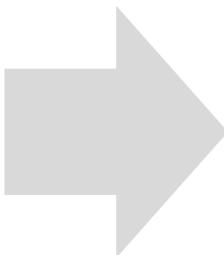
〇〇市 様

株式会社〇〇システム

件名：〇〇市 標準化・共通化事業
お見積り金額：¥15,150,000-（税抜）

| No. | 項目 | 数量（人日） | 単価（円） | 金額（円） |
|-----|------------------|--------|--------|-----------|
| 1 | 文字の標準化 | | | |
| | データクレンジング | 10 | 75,000 | 750,000 |
| | データ抽出 | 50 | 75,000 | 3,750,000 |
| | データ移行 | 10 | 75,000 | 750,000 |
| 2 | 稼働環境構築 | | | |
| | VM設計及び設定 | 30 | 90,000 | 2,700,000 |
| | FW設計及び設定 | 10 | 90,000 | 900,000 |
| | Vnet設計及び設定 | 20 | 90,000 | 1,800,000 |
| | DNS設計及び設定 | 10 | 90,000 | 900,000 |
| | API設計及び設定 | 10 | 90,000 | 900,000 |
| | CosmosDB設計及び設定 | 10 | 90,000 | 900,000 |
| | AppServiceデプロイ作業 | 20 | 90,000 | 1,800,000 |

以上



(例) 見積書

〇〇市 様

株式会社〇〇システム

件名：〇〇市 標準化・共通化事業
お見積り金額：¥16,665,000-（税込）

※ 見積内訳・明細統一様式を当該見積書別紙としております。

以上

J-LIS指定見積書内訳に作業の明細は記載いただいております。
頭紙に作業内訳等を記載している場合は、記載内容、内訳との整合性等について、確認のやり取りや、修正等が生じます。

4 . J-LIS指定見積書の頭紙に「不要な情報」が記載され確認・修正等が生じる例 (2) 頭紙に見積条件が記載されている場合

頭紙には、見積に係る前提条件等は記載しないでください。

なお、移行費用に係るガバメントクラウド利用料については、J-LIS指定見積書の作成に当たって、試算書、参考書等として作成いただいても構いません。

(例) 御見積書

〇〇市 様

株式会社◆◆システム
A〇〇Group Corporation

件名：〇〇市 ◆◆システム標準化・共通化事業
お見積り金額：¥15,150,000- (税抜)

| No. | 項目 | 数量 | 単価 (円) | 金額 (円) |
|-----|-------------|----|------------|------------|
| 1 | 標準化・共通化事業委託 | - | 15,150,000 | 15,150,000 |

【前提条件】

- 当社は、ガバメントクラウド運用管理補助者兼ASP事業者として本作業を実施します。
- サーバ構成は以下とします。
◆◆システムサーバ
・EC2 (本番) × 1 (仮想コア10コア、メモリ32GB以上)、Aurora × 1
・EC2 (検証) × 1 (仮想コア10コア、メモリ32GB以上)、Aurora × 1
- ◆◆システムサーバのOSはWindowsServer2019Standard (64bit版)とします。
- ◆◆システムのDBはPostgreSQLとします。
- 本件における他システムや当社と直接契約関係になり関係他社とご調整に関わる作業は自治体様にて実施願います。なお、関係他社側で費用が生じる場合は、自治体様にて当該費用をご負担いただくようお願いいたします。
- システム標準化、ガバメントクラウド (aws) に関する資料を始め、本プロジェクト遂行に必要な自治体様所有の情報については、必要となる工程ごとに提供をお願いいたします。
- 新サーバ (aws) への当社保守拠点PC、自治体様PCからのリモート接続できることとします。
- クライアントPC、プリンタ、OCR機器等のハードウェア、ソフトウェア (Microsoft Office等) のライセンス費用は含まれておりません。

以上

(例) 御見積書

〇〇市 様

株式会社◆◆システム
A〇〇Group Corporation

件名：〇〇市 ◆◆システム標準化・共通化事業
お見積り金額：¥16,665,000- (税込)

※ 見積内訳・明細統一様式を当該見積書別紙としております。

以上

見積の前提条件は、補助事業の申請主体たる自治体に直接、お知らせください。前提条件は、補助金の申請に当たって、不要な記述ですので、J-LIS指定見積書を構成する頭紙には記載しないでください。

ガバメントクラウド利用料については、試算書、概算書、積算書といった名目でのJ-LIS指定見積書作成でも構いません。その場合は、J-LIS指定見積書の「頭紙」に試算書等であることを明記いただき、J-LIS指定見積書内訳に詳細を記載してください。

5 . J-LIS指定見積書の頭紙と内訳が、一対一でなく確認・修正等が生じる例 (1) 内訳を自治体の部門ごとに作成している場合

J-LIS指定見積書を構成する「頭紙」と「J-LIS指定見積書内訳」は、一対一で対応するように作成してください。

(例) 見積書

〇〇市 様

株式会社〇〇システム

件名：〇〇市 標準化・共通化事業

お見積り金額：¥16,665,000- (税込)

※ 見積内訳・明細統一様式を当該見積書別紙としております。

以上

見積書内訳

〇〇市 住民課 様

2025/2/1

東京都千代田区一番町〇〇

株式会社〇〇システム

〇〇支店 営業部長 〇〇 〇〇

見積合計額 6,775,000 円

税金 6,775,000 円

※本表は、集計するため行・列の追加、様式の標準入力を始める前に必ず最新版の「標準化・共有※背書量が薄茶色部分は手入力、薄青色部分は付※変更承認申請の対象となる作業は、新たな行

見積合計額 (今年度補助対象経費のみ) 6,250,000 円

税金 6,775,000 円

補助対象外経費※見積書別紙に計上された見積書 0 円

税金 0 円

変更額 (総額) 0 円

税金 0 円

令和 年度事業費内訳 (単位：円)

| 項目 | 数量の 有無 | 事業費名 | 合計額 (税込) | 種別 | 標準化対象業務 | システム名称 | 実行するガバメントクラウドサービス名称 | ガバメントと接続する移行クラウド名称 |
|----|-----------|--------|-------------|-----------|---------|----------|---------------------|--------------------|
| 1 | × | 〇〇システム | 20,000 | 1,286,000 | SE | 01 国定資産税 | 税務総合システム | Microsoft Azure |
| 2 | × | 〇〇システム | 70,000 | 1,287,000 | SE | 04 個人住民税 | 税務総合システム | Microsoft Azure |
| 3 | × | 〇〇システム | 70,000 | 1,287,000 | SE | 05 法人住民税 | 税務総合システム | Microsoft Azure |
| 4 | × | 〇〇システム | 160,000 | 2,376,000 | SE | 03 国定資産税 | 税務総合システム | Microsoft Azure |
| 5 | × | 〇〇システム | 270,000 | 2,277,000 | SE | 04 個人住民税 | 税務総合システム | Microsoft Azure |
| 6 | × | 〇〇システム | 270,000 | 2,277,000 | SE | 05 法人住民税 | 税務総合システム | Microsoft Azure |

※「株式会社」等の会社名称は省略してください。また、変更承認、変更承認も不要です。

※「この欄」とは自治体からの場合はクラウド名を、それ以外の場合は「-」を入力してください。



5 . J-LIS指定見積書の頭紙と内訳が、一対一でなく確認・修正等が生じる例 (2) 頭紙を自治体の部門ごとに作成している場合

J-LIS指定見積書を構成する「頭紙」と「J-LIS指定見積書内訳」は、一対一で対応するように作成してください。

(例) 見積書

〇〇市 住民課 様

株式会社〇〇システム

件名：〇〇市 標準化・共通化事業

お見積り金額：¥5,775,000- (税込)

※ 見積内訳・明細統一様式を当該見積書別紙としております。

以上

(例) 見積書

〇〇市 税務課 様

株式会社〇〇システム

件名：〇〇市 標準化・共通化事業

お見積り金額：¥10,890,000- (税込)

※ 見積内訳・明細統一様式を当該見積書別紙としております。

以上

見積書内訳 〇〇市 様

■ 見積合計額
税抜 16,160,000円
税込 16,665,000円

※補助対象
※本表は、集計するため行・列の追加、様式の標準入力を含める前に必ず最新版の「標準化・共通化費算出表」を参照してください。
※青色部分は手入力、緑色部分は印刷
※変更承認申請の対象となる作業は、新たな行

■ 見積合計額 (今年度補助対象経費の内)
税抜 15,150,000円
税込 16,665,000円

■ 補助対象外経費 (見積書別紙に計上された見積合計)
税抜 0円
税込 0円

■ 変更額 (増額)
税抜 0円
税込 0円

■ 令和 年度事業費内訳 (単位：円)

| 項目 | 変更の有無 | 事業者名 <small>※「株式会社」等の会社名は印刷してください。また、商業簿記も、変更も可です。</small> | 合計額 (税抜) | 税額 | 標準化対象業務 | システム名称 | 実行するクラウドサービス名称 | ガバクラウド連携するクラウド名称 <small>※「その他」を選択した場合はクラウド名を、それ以外を選択した場合は、ご入力ください。</small> |
|----|-------|---|-----------|-----------|----------|----------|-----------------|---|
| 1 | * | 〇〇システム | 20,000 | 330,000 | 03 固定資産税 | 税務総合システム | Microsoft Azure | - |
| 2 | * | 〇〇システム | 25,000 | 247,500 | 04 個人住民税 | 税務総合システム | Microsoft Azure | - |
| 3 | * | 〇〇システム | 235,000 | 247,500 | 05 法人住民税 | 税務総合システム | Microsoft Azure | - |
| 4 | * | 〇〇システム | 500,000 | 1,665,000 | 03 固定資産税 | 税務総合システム | Microsoft Azure | - |
| 5 | * | 〇〇システム | 125,000 | 1,277,500 | 04 個人住民税 | 税務総合システム | Microsoft Azure | - |
| 6 | * | 〇〇システム | 125,000 | 1,237,500 | 05 法人住民税 | 税務総合システム | Microsoft Azure | - |
| 7 | * | 〇〇システム | 300,000 | 330,000 | 03 固定資産税 | 税務総合システム | Microsoft Azure | - |
| 8 | * | 〇〇システム | 225,000 | 247,500 | 04 個人住民税 | 税務総合システム | Microsoft Azure | - |
| 9 | * | 〇〇システム | 225,000 | 247,500 | 05 法人住民税 | 税務総合システム | Microsoft Azure | - |
| 10 | * | 〇〇システム | 1,260,000 | 1,388,000 | 03 固定資産税 | 税務総合システム | Microsoft Azure | - |
| 11 | * | 〇〇システム | 1,170,000 | 1,297,500 | 04 個人住民税 | 税務総合システム | Microsoft Azure | - |
| 12 | * | 〇〇システム | 1,170,000 | 1,297,500 | 05 法人住民税 | 税務総合システム | Microsoft Azure | - |
| 13 | * | 〇〇システム | 2,160,000 | 2,378,000 | 03 固定資産税 | 税務総合システム | Microsoft Azure | - |
| 14 | * | 〇〇システム | 2,070,000 | 2,277,000 | 04 個人住民税 | 税務総合システム | Microsoft Azure | - |
| 15 | * | 〇〇システム | 2,070,000 | 2,277,000 | 05 法人住民税 | 税務総合システム | Microsoft Azure | - |

6. 自治体の変更承認申請時における変更前後のJ-LIS指定見積書の構成で確認・修正が生じる例 (1) J-LIS指定見積書が変更分のみで作成となっている場合



同一年度内において、自治体が交付決定を受けた事業内容に変更がある場合には、当該自治体に確認いただき、**変更前の申請に係るJ-LIS指定見積書内訳に、変更承認申請に係る補助対象経費を追記**して作成してください（増額・減額に関わらず。）。これは、申請年度における補助対象経費の**一覧性を確保**するためであり、**変更分のみ**のJ-LIS指定見積書を作成しないようご注意ください。

見積書頭紙 当初（先の申請）

(例) 見積書

〇〇市 様

株式会社〇〇システム

件名：〇〇市 標準化・共通化事業

お見積り金額： **¥5,775,000-（税込）**

※ 見積内訳・明細統一様式を当該見積書別紙としております。

J-LIS指定見積書内訳 当初（先の申請）

見積書内訳 〇〇市 様

見積合計額 6,250,000円
税込 6,775,000円

※本表は、集計するための行・列の追加、様式の標準化を始める前に必ず最新の「標準化・共有費量」が薄茶色部分は手入力、薄青色部分はJ-LIS指定承認申請の対象となる作業は、新たな行

見積合計額（今年度補助対象経費のみ） 6,250,000円
税込 6,775,000円

補助対象外経費 0円
税込 0円

令和 年度事業費内訳 (単位：円)

| 項目 | 変更の有無 | 事業者名 | 合計額(税込) | 種別 | 標準化対象業務 | システム名称 | 実行するガバナンスクラウドサービス名称 | ガバクラと連携するサービスクラウド名称 |
|----|-------|--------|-----------|----|------------|----------|---------------------|---------------------|
| 1 | ○ | 〇〇システム | 1,285,000 | SE | 01_ 治安防犯 | 監視録音システム | Microsoft Azure | - |
| 2 | ○ | 〇〇システム | 1,257,000 | SE | 04_ 個人情報保護 | 監視録音システム | Microsoft Azure | - |
| 3 | ○ | 〇〇システム | 75,000 | SE | 05_ 個人情報保護 | 監視録音システム | Microsoft Azure | - |
| 4 | ○ | 〇〇システム | 180,000 | SE | 03_ 治安防犯 | 監視録音システム | Microsoft Azure | - |
| 5 | ○ | 〇〇システム | 870,000 | SE | 04_ 個人情報保護 | 監視録音システム | Microsoft Azure | - |
| 6 | ○ | 〇〇システム | 870,000 | SE | 05_ 個人情報保護 | 監視録音システム | Microsoft Azure | - |

J-LIS指定見積書内訳 変更分（後の申請）

見積書内訳 〇〇市 様

見積合計額 8,900,000円
税込 10,890,000円

※本表は、集計するための行・列の追加、様式の標準化を始める前に必ず最新の「標準化・共有費量」が薄茶色部分は手入力、薄青色部分はJ-LIS指定承認申請の対象となる作業は、新たな行

見積合計額（今年度補助対象経費のみ） 8,900,000円
税込 10,890,000円

補助対象外経費 0円
税込 0円

令和 年度事業費内訳 (単位：円)

変更額 (増額) 2,650,000円
税込 3,900,000円

6. 自治体の変更承認申請時における変更前後のJ-LIS指定見積書の構成で確認・修正が生じる例 (2) J-LIS指定見積書頭紙が変更前と変更後の2つ作成されている場合



J-LIS指定見積書を構成する「頭紙」と「J-LIS指定見積書内訳」は、一対一で対応するように作成してください。

自治体が交付決定を受けた事業内容に変更がある場合は、当該自治体に確認いただき、**変更前の申請に係るJ-LIS指定見積書内訳に、変更承認申請に係る補助対象経費を追記**し、これに対応する見積書の頭紙の作成をお願いします。変更前の申請時に提出した見積書頭紙を参照する形式により、変更承認申請に係るJ-LIS指定見積書を構成することはできませんのでご注意ください。

見積書頭紙 当初（先の申請）

(例) 見積書

〇〇市 様

株式会社〇〇システム

件名：〇〇市 標準化・共通化事業

お見積り金額： **¥5,775,000-（税込）**

※ 見積内訳・明細統一様式を当該見積書別紙としております。

J-LIS指定見積書内訳 当初（先の申請）+変更分（後の申請）

見積書内訳 〇〇市 様

2025/12/1

東京府千代田区一善町〇〇

株式会社〇〇システム

〇〇支店 営業部長 〇〇 〇〇

変更額（増額） 9,000,000 円

税込 10,890,000 円

※本表は、集計するため行・列の追加、欄式の増減入力を含める前に必ず最新版の「標準化・共通化経費追記シート」を参照し、変更承認申請の対象となる作業は、新たな行・列で入力してください。

| 項目 | 変更の有無 | 事業名 | 合計額(税込) | 種別 | 標準化対象業務 | システム名称 | 実行するクラウドサービス名称 | ガバクラと連携するクラウド名称 |
|----|-------|--------|-----------|----------|----------|-----------------|----------------|-----------------|
| 1 | × | 〇〇システム | 0.000 | 03 固定資産税 | 税務総合システム | Microsoft Azure | - | |
| 2 | × | 〇〇システム | 25.000 | 04 個人住民税 | 税務総合システム | Microsoft Azure | - | |
| 3 | × | 〇〇システム | 675.000 | 05 法人住民税 | 税務総合システム | Microsoft Azure | - | |
| 4 | × | 〇〇システム | 500.000 | 03 固定資産税 | 税務総合システム | Microsoft Azure | - | |
| 5 | × | 〇〇システム | 175.000 | 04 個人住民税 | 税務総合システム | Microsoft Azure | - | |
| 6 | × | 〇〇システム | 1.125.000 | 05 法人住民税 | 税務総合システム | Microsoft Azure | - | |
| 7 | × | 〇〇システム | 300.000 | 03 固定資産税 | 税務総合システム | Microsoft Azure | - | |
| 8 | × | 〇〇システム | 225.000 | 04 個人住民税 | 税務総合システム | Microsoft Azure | - | |
| 9 | × | 〇〇システム | 225.000 | 05 法人住民税 | 税務総合システム | Microsoft Azure | - | |
| 10 | ○ | 〇〇システム | 1.260.000 | 03 固定資産税 | 税務総合システム | Microsoft Azure | - | |
| 11 | ○ | 〇〇システム | 1.170.000 | 04 個人住民税 | 税務総合システム | Microsoft Azure | - | |
| 12 | ○ | 〇〇システム | 1.170.000 | 05 法人住民税 | 税務総合システム | Microsoft Azure | - | |
| 13 | ○ | 〇〇システム | 2.160.000 | 03 固定資産税 | 税務総合システム | Microsoft Azure | - | |
| 14 | ○ | 〇〇システム | 2.070.000 | 04 個人住民税 | 税務総合システム | Microsoft Azure | - | |
| 15 | ○ | 〇〇システム | 2.070.000 | 05 法人住民税 | 税務総合システム | Microsoft Azure | - | |

見積書頭紙 変更分（後の申請）

(例) 見積書

〇〇市 様

株式会社〇〇システム

件名：〇〇市 標準化・共通化事業

お見積り金額： **¥10,890,000-（税込）**

※ 見積内訳・明細統一様式を当該見積書別紙としております。

以上

6 . 自治体の変更承認申請時における変更前後のJ-LIS指定見積書の構成で確認・修正が生じる例 (3) 変更前後のJ-LIS指定見積書の正しい構成の例



見積書頭紙とJ-LIS指定見積書内訳は一対一で対応するように作成してください。

自治体が交付決定を受けた事業内容に変更がある場合は、**変更前の申請に係るJ-LIS指定見積書内訳に、変更承認申請に係る補助対象経費を追記し**、これに対応する見積書頭紙の作成をお願いいたします。

J-LIS指定見積書内訳 当初（先の申請）+変更分（後の申請）

(例) 見積書

〇〇市 様

株式会社〇〇システム

件名：〇〇市 標準化・共通化事業

お見積り金額：¥16,665,000- (税込)

※ 見積内訳・明細統一様式を当該見積書別紙としております。

以上

J-LIS指定見積書内訳 当初（先の申請）+変更分（後の申請）

見積書内訳 〇〇市 様

2025/12/1

東京都千代田区一善町〇〇

株式会社〇〇システム

〇〇支店 営業部長 〇〇 〇〇

見積書内訳

■ 見積合計額 16,665,000 円

税抜 16,665,000 円

税込 16,665,000 円

※本表は、集計するため行・列の追加、様式の修正入力を含める前に必ず最新版の「標準化・共通化事業」が青色部分の手入力、緑色部分はJ-LIS指定承認申請の対象となる作業は、新たな行

■ 見積合計額（今年度補助対象経費のみ）

税抜 15,150,000 円

税込 16,665,000 円

■ 補助対象外経費（見積書別紙に計上された見積書内訳）

税抜 0 円

税込 0 円

■ 令和 年度事業費内訳（単位：円）

| 項目 | 変更の有無 | 事業者名 | 合計額(税込) | 種別 | 標準化対象業務 | システム名称 | 実行するクラウドサービス名称 | ガバクラと連携する実行クラウド名称 |
|----|-------|--------|-----------|----------|----------|-----------------|----------------|-------------------|
| 1 | × | 〇〇システム | 300,000 | 03 固定資産税 | 税務総合システム | Microsoft Azure | - | |
| 2 | × | 〇〇システム | 275,000 | 04 個人住民税 | 税務総合システム | Microsoft Azure | - | |
| 3 | × | 〇〇システム | 275,000 | 05 法人住民税 | 税務総合システム | Microsoft Azure | - | |
| 4 | × | 〇〇システム | 500,000 | 03 固定資産税 | 税務総合システム | Microsoft Azure | - | |
| 5 | × | 〇〇システム | 175,000 | 04 個人住民税 | 税務総合システム | Microsoft Azure | - | |
| 6 | × | 〇〇システム | 175,000 | 05 法人住民税 | 税務総合システム | Microsoft Azure | - | |
| 7 | × | 〇〇システム | 300,000 | 03 固定資産税 | 税務総合システム | Microsoft Azure | - | |
| 8 | × | 〇〇システム | 275,000 | 04 個人住民税 | 税務総合システム | Microsoft Azure | - | |
| 9 | × | 〇〇システム | 275,000 | 05 法人住民税 | 税務総合システム | Microsoft Azure | - | |
| 10 | ○ | 〇〇システム | 1,700,000 | 03 固定資産税 | 税務総合システム | Microsoft Azure | - | |
| 11 | ○ | 〇〇システム | 1,700,000 | 04 個人住民税 | 税務総合システム | Microsoft Azure | - | |
| 12 | ○ | 〇〇システム | 1,700,000 | 05 法人住民税 | 税務総合システム | Microsoft Azure | - | |
| 13 | ○ | 〇〇システム | 2,160,000 | 03 固定資産税 | 税務総合システム | Microsoft Azure | - | |
| 14 | ○ | 〇〇システム | 2,070,000 | 04 個人住民税 | 税務総合システム | Microsoft Azure | - | |
| 15 | ○ | 〇〇システム | 2,070,000 | 05 法人住民税 | 税務総合システム | Microsoft Azure | - | |

※「その他」を選択した場合はクラウド名を、それ以外を選択した場合は「-」を入力ください。

J-LIS指定見積書内訳は、最新版をお使いください。